

10月



平成26年10月1日(水) 発行

『行事は集団の質を高める』

校長 油井 宏樹

「暑さ寒さも彼岸まで」とよく言ったもので、朝夕はすっかり涼しくなりました。9月27日(土)には、台風一過の秋晴れの下、運動会が無事に終わりました。先生と子どもたちが構想を練りながら、創り上げた最高の運動会でした。地域や保護者の皆様がテントの中から「頑張れ!」と拍手しながら熱い声援をかけてくださり、子どもたちはこれ以上の力はないくらい全力を出し切ったように感じました。

10・11月には、「かほく市小学生体育大会」「歯と口の健康づくりの研究発表会」「マラソン大会」や「大海っ子フェスティバル」など大きな行事があります。行事は子どもたちの集団の質を高める絶好の機会です。子どもたちは、学級という集団を核にして生活をしています。学校における生活が楽しく充実したものになるためには、それぞれの集団の質を高め、生き生きと活動できる場となるよう努めることが大切です。

「行事」は、集団の質を高める三つの大きな力を持っています。

一つは、仲間意識を育てる力です。音楽会の練習を一つ例に挙げても、友達と音を合わせ、みんなと揃える気持ちがなくてはきれいな音は作れません。自分を少し押さえて我慢することや友達のことを気にしながら行動しないと上手くいかないことを自然に学びます。

二つ目は、仲間に迷惑を掛けないように気を配る心を培う力です。共通の目標を持って、一緒に何かを創りあげようとする過程で養われます。望ましい集団として育つほどに、所属する集団や集団の一人ひとりをよりよく成長させようとする暗黙のルールが広がっていきます。今後、社会に参加して良い仕事を成し遂げるために必要な心構えができます。

三つ目は、集団の一人ひとりが、役割を自覚し、責任をもって成し遂げる力の育成です。集団演技や団体競技で結果を出そうとする時は、他の人へ協力しようとする心が必要です。一つの取組が協力して成し遂げられるプロセスで身につく力です。

行事は集団の質を高めます。質の高い集団は一人ひとりを鍛えます。また、集団に対して自分が価値ある存在であることを認識したときに、集団はさらに向上し発展していきます。

最後になりますが、先日、高松中学校の運動会を見る機会がありました。9月第1週の土曜日ですから、行進や整列までじっくりと練習しているはずがありません。しかし、みんな揃った立派な行動ができていました。それは、小学校で培った集団行動や集団規律の素地が身についているからこそ練習をしなくてもできることだと思います。小学校における行事は決してお祭り騒ぎではなく、集団の質を高めることができるもの大切なものです。

小学校の行事は、こういう観点から行われていることを感じてくだされば幸いです。